

平成 12 年 2 月 14 日

『秩父リゾートファンの集い』開催

秩父地方のまつりと民俗芸能を紹介

14 日（月）、豊島公会堂（豊島区東池袋 1-19）で、秩父地方の祭りや民俗芸能などを紹介しようと、秩父リゾートファンの集いが開催された。このイベントは、秩父市と豊島区が姉妹都市であることから、平成 7 年から毎年 2 月に豊島区で開催されているもの。主催は秩父リゾート地域整備推進協議会（会長 内田全一秩父市長）。後援、豊島区・埼玉県他。

秩父郡市と寄居町の 11 市町村からなるこの地域は、切り立った山並みを持つ秩父連山、荒ぶる川と呼ばれた荒川など迫力ある自然の中で、伝統芸能など独特の文化が育まれた。また、この地域は、秩父リゾート地域として 4 つの重点整備地区に区分され、特性に合わせた整備が進められている。秩父リゾートファンの集いは、このような秩父リゾート地域をもっと首都圏の人達に知ってもらおうと開催されたもので、「秩父地方のまつりと民俗芸能」と題した長瀬町教育長 原嗣雄（とちはら つぐお）氏の講演や、大滝村の三峯神社の獅子舞、秩父市の秩父屋台囃子が披露された。

原氏は、昭和 12 年秩父生まれ。秩父市内の中学校教諭を経て、埼玉県立民俗文化センター所長、埼玉県教育局文化財保護課長などを歴任し、平成 7 年に長瀬町教育長に就任した。氏は「秩父は盆地であり、一つにまとまった地域として、歴史的にも文化的にも特色のある地方文化圏を形成してきました。祭りや年中行事、民俗芸能においても、秩父ならではのといった際立ったものも少なくない」と述べ、病気や悪い虫を追い払う「虫送り」や竹の中に黒色火薬を詰めてロケットのように打ち上げる吉田町の「龍勢」などを紹介した。

講演に続き、秩父地方に伝わる民俗芸能「三峯神社獅子舞」と「秩父屋台囃子」が披露された。三峯神社獅子舞は奥秩父大滝村の三峯神社の末社、諏訪神社の祭礼に奉納されているもので、江戸時代中期、奥多摩の日原道心により神領三峯の人達に伝えられたと言われる。雄獅子、雌獅子、太夫獅子たちの優雅な舞に、会場を訪れた約 800 人の観衆は盛んに拍手を送っていた。

問い合わせ 文化国際主査